

(様式第2号)

監 委 第 3 2 号

令和8年7月10日

太 田 市 長 穂 積 昌 信 様
太 田 市 議 会 議 長 渡 辺 謙 一 郎 様

太田市監査委員 長 瀬 裕 一
太田市監査委員 高 田 靖

定 期 監 査 結 果 報 告 書
(おおた未来戦略部・デジタル戦略部・健康医療部)

地方自治法第199条第4項の規定に基づき定期監査を執行したので、その結果を同条第9項の規定により次のとおり報告します。

記

- 1 監査の基準 太田市監査基準
- 2 監査の種類 定期監査
- 3 監査の対象
 - ・おおた未来戦略部（企画政策課、マーケティング戦略室、行政マネジメント課、人事課、コンプライアンス課、国際課、広報ブランド課）
 - ・デジタル戦略部（デジタル戦略課、情報システム課）
 - ・健康医療部（健康づくり課、国民健康保険課、医療年金課、介護サービス課）
- 4 監査の着眼点
 - （1）予算の執行は適正か。（歳入歳出事務）
 - （2）契約の方法及び事務手続きは適正か。
 - （3）補助金等の事務は適正か。
- 5 監査の実施内容
 - （1）監査の方法

定期監査の実施にあたっては、各監査対象における令和7年度（監査基準日：令和8年3月31日）の財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理について、所属長及び関係職員から説明を求め、関係諸帳簿を調査した。

(2) 監査の期間

令和8年5月28日から令和8年6月9日まで

6 監査の結果

おおた未来戦略部・デジタル戦略部・健康医療部における予算の執行状況並びにその他財務に関する事務の執行状況は、上記のとおり監査した結果、おおむね適正なものと認められた。

ただし、事務処理において一部留意すべき事項が見受けられたので、該当の所属長に対し再発防止を指示した。

監査の結果については以上のとおりであるが、今回の監査について次のとおり意見を付記する。

おおた未来戦略部は、太田市の根幹であり方向性を決めていく舵取りという重要な役割を担っている。太田市の将来都市像である、「みんなの笑顔がすぐそばにあるまち おおた」を実現するために、所期の目的と照らし合わせて市民の満足度にどう結びついたのかを、しっかり検証しフィードバックして次の施策に繋げてもらいたい。

デジタル戦略部は、DX社会の実現を目指してAIの活用により効率性を高め、オンライン申請の認知度に応じた周知を工夫するなど、市民が利便性を享受できるよう取り組んでももらいたい。AIの時代を迎えている昨今、子どもたちの無限の可能性を引き出す機会となっているプログラミング学校を今後も継続し、将来のDX人材の育成に繋がることを期待する。

健康医療部は、生涯を通じた市民の健康に係わる重要な部署である。市民の健康に関する統計データの分析によって効果的な事業に繋げてもらいたい。また、ナッジ理論を活用した受診率向上への取り組みなど費用対効果をしっかり見極めることが重要である。さらに各保険料等については、市民負担の公平性の観点から滞納対策に継続して取り組まれない。